

## 遠隔合同社会見学の報告

平成30年10月23日（火）遠隔合同社会見学を行いました。

株式会社OKIワークウェルの御協力を得て、3年連続の参加です。今年は東京都三鷹市にある国立天文台三鷹キャンパスから「宇宙旅行」の授業でした。



この見学には本校と北海道八雲養護学校、都立府中けやきの森学園、静岡県立東部特別支援学校、香川県立高松養護学校、山口県立周南総合支援学校、島根県立江津清和養護学校、徳島県立鴨島支援学校が参加しました。また、本校には都立墨東特別支援学校の高等部1年男子生徒も来て、一緒に学習しました。

国立天文台三鷹キャンパスの縣（あがた）秀彦准教授が全国8校の教室にいる生徒を「M i t a k a」という仮想宇宙空間シミュレーションソフトウェアを使って、地球から火星や月、太陽へと連れていってくれました。

また、各校からの質問にも手作りの教材や動画を用いて、丁寧に答えてくださいました。

本校からは「宇宙エレベーターはできますか？」という質問をしました。縣准教授は「原理的には作れますが、軽くて丈夫なカーボンナノチューブのさらなる技術開発と莫大な資金が必要です。」と答えられました。

さらに、生徒へのプレゼントとして、縣准教授が監修された「星の王子さまの天文ノート」という本をいただきました。本には縣准教授のサインと「星に想いを……」という直筆メッセージが書かれていました。

当日はほぼ満月で、きれいな月を見ることができました。壮大な宇宙への旅は心が晴れやかになる貴重な体験となりました。